

アートを通じて 地域とつながる・地域をつなげる 心のままアートプロジェクト

表現活動を通して、誰もが社会参加しやすい環境をつくり、笑顔の輪を広げるプロジェクトです。



こころのまま

所在地：沼津市
ホームページアドレス
<https://kokoronomama.wixsite.com/art-project>
プロジェクトの企画・運営

任意団体

アーツカウンシル しずおか

所在地：静岡市駿河区
ホームページアドレス
<https://artscouncil-shizuoka.jp/>
TEL：054-204-0059
プロジェクトの助成、支援・アドバイス

公益財団

日本ペイント株式会 社、日本ペイント ホールディングス株 式会社

所在地：東京都
TEL：03-5479-3600
イベントの協賛、水性塗料、オリジナルTシャツの提供

企業

地球(ほし)のかけら

所在地：沼津市
ホームページアドレス
<https://www.nipponpaint-holdings.com/>
TEL：080-4677-7809
イベント準備、重い障がいのある子どもたちの表現をサポート

福祉事業所

プロジェクトの企画・運営はこころのまま、プロジェクトの支援・資金面ではアーツカウンシルしずおか、イベントで使用する材料などは企業から協力を得ました。

子どもたちの将来に不安・悩みをもつ保護者

障がいのある子どもは2007年比で4.2%増加(文部科学省・2019年度)しています。しかし、子どもに合った施設や就労先が少なく、学校卒業後の子どもの将来に保護者は不安を感じています。子どもたちのアート作品を通じて障がいに対する理解を広げつつ、子どもたちの将来の仕事や居場所をつくりたいとの想いから、保護者のひとりである沼田さんは2017年6月に「障害者のしごとを考える母の会」を立ち上げました。

心のままアートを通じて多方面に届けたい

同年の秋から毎年「心のままアート展」を開催。心のままアートとは、障がいのある子どもたちを含む多様な人たちが心のままに生み出す作品のことです。多くの方々の応援をいただくことができましたが、その多くは障がいのある子どもの家族や親戚、福祉関係の方々といった状況でした。障がいとの関わりが少ない方々とも繋がりを持ちたいと考えた沼田さんは、2020年に新たな団体「こころのまま」を立ち上げ「心のままアートプロジェクト」を始動させました。

障がいのある子どもたちにも表現の場を

プロジェクトの1年目は「静岡県文化プログラム 地域密着プログラム」の1事業として、コロナ禍での社会参加の形を模索する「オンライン参加実験」(発表やコミュニケーションの場をつくる)を実施しました。

2年目は「アーツカウンシルしずおか 文化芸術による地域振興プログラム」の事業として、櫛野チーフプ

ログラム・ディレクターによるサポートのもと、誰もが参加できる表現活動となることを目指して、ペンキ入りの水風船や水鉄砲でスプラッシュアートを描く企画を立て、静岡県沼津土木事務所の協力を得て、沼津港外港にある矢板を制作場所として確保しました。

また、会場に来ることが難しい重い障がいのある子どもたちも参加できるよう、共生型多機能事業所「地球(ほし)のかけら」が協力し、事業所に通う子どもたちが参加できるサテライト会場となってくれました。

プロジェクトのコンセプトに共感した日本ペイント(株)と日本ペイントホールディングス(株)は、同社のCSR活動HAPPY PAINT PROJECTの一環で当日使用する水性塗料とオリジナルTシャツを提供してくれました。日本ペイントのスペシャルアンバサダーのSHOGENさんも加わり、裏方として子どもたちの個性や表現を引き出すことになりました。

子どもたちのやりたいことを大切に

2021年10月にいよいよ屋外壁画アートの本番を迎えました。沼津港会場では、障がいのある子どもたちと保護者、地元の高校生などが参加しました。高校生たちは子どもたちに寄り添ったサポートをしてくれました。

サテライト会場では、作業療法士さんたちが子どもたちのサポートをしてくれました。オンラインで繋がった二つの会場で、のびのびと制作を楽しむ子どもたちと地域の方々の姿が見られ、会場は幸福感に溢れました。

Point

こころのままには、ものづくり、デザイン、福祉、医療、教育、子育て等様々な分野のメンバーがいることで多方面へのアプローチが可能に。

2017年から毎年実施している「心のままアート展」をきっかけに地域の様々な企業や団体が協力・協賛をしています。

障がいのある人の社会参加をすすめるアートプロジェクトにより、広く共感を得ることができました。

これからの展望

キャンバスとなった矢板は、工事のため無くなりますが、壁画アートの様子を映像(2021年12月公開)と冊子に記録し、プロジェクトの意義を伝えていきます。

